

事業番号	10 02 10	事業改善シート(25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	山の幸生産振興対策事業			担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	信州の木活用課	
	施策の総合的展開	1-4森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 4 様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進			E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	H8 ~		

1 事業の概要

目指す姿	山村における貴重な収入源である特用林産物の生産振興を主体として、生産者の収入確保と地域の活性化を目指す。					
現状	○山林には、里山を利用したきのこや山菜栽培など特用林産物の生産ができる環境はあるものの、知識や技術の不足により特用林産物を生産することにより、収入の確保が行われていないので、里山を利用した特用林産物の生産が地域産業の一助となるべく、知識や技術指導が必要。					
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 林業普及指導員等の持つ専門知識が必要、特用林産産地振興総合対策事業補助金交付要綱				
事業内容	① 成果目標(H25) ○特用林産物の栽培研修会を6回開催し、参加者に対して研修内容の理解を図る。(研修参加者440名)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初)	H25 (決算)	H26 (当初)
	地域特用林産物商品化事業	補助	・直売所の新設・拡充など地域の人たちが行う特用林産物商品化に対する支援(5回)	214	86	186
	技術向上対策事業	補助	・しいたけ生産技術等研修会の開催(1回27人) ・山菜栽培技術等研修会の開催(2回66人) ・まつたけ生産者・指導者研修会の開催(2回278人)	108	227	108
情報収集提供事業	補助	・まつたけ等発生調査(4箇所) ・しいたけホダ化積算温度調査(9箇所)	234	243	234	
里山保全と未利用木材有効活用推進モデル事業	委託	・里山の林地残材から炭を生産し有効利用を図る先進的な取り組みを推進			4,498	
			合計	556	556	5,026

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度	成果目標の達成状況					
	前年度繰越					項目	H24末(実績)	H25		H26目標	
	当初予算	618	556	556	5,026			目標	成果		達成状況
	補正予算					研修参加者数	405	440	371	未達成	440
	合計(A)	618	556	556	5,026						
	国庫支出金	309	278	278	528						
	県債										
	その他(繰入金)				4,498						
	一般財源	309	278	278	0						
	決算額(B)	1,236	1,112	556							
概算人件費	職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10						
概算事業費(B(A)+C)	概算人件費(C)	826	826	826	826						
		2,062	1,938	1,382	5,852						

目標に対する成果の状況	研修参加人数の目標(440名)は達成できなかった。(研修参加者 371名 84%の達成率) まつたけ生産者研修会を屋内研修としたため募集人数に制約が生じたため、参加者数が大幅に減少してしまった。平成26年度目標値については、達成できなかった平成25年度の目標値に据え置き、研修参加人数の増加を図りたい。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 事業を継続し、生産者への支援を行うが、研修内容については実施主体へアドバイスをを行い、生産者にとって更に有益となる研修を企画するよう指導するとともに、より多く参加できるよう現地研修を企画するなど検討していきたい。
--------------------	---